

令和2年度 第2回瑞浪市化石博物館協議会（書面開催）開催報告

・決議及び意見聴取期間：令和3年2月16日～2月26日

1. 協議会長の選出について

●書面決議の結果、間宮弘一委員が協議会長に選出された。

2. 報告事項

令和2年度事業報告について

●各委員からの主なご意見等は以下の通り

○意見：市内の学校の出前授業、標本の貸し出し実績が少ない。教育委員会のプログラムに入れる努力を期待する。

◇回答：昨年は、新型コロナウイルスの影響により学校団体への対応を減らすなど対策をとったため一昨年よりも減少しました。オンライン出前講座など実績を増加する工夫をしていきます。

・感想：新型コロナウイルスの影響により利用者が減少する中で、新たな化石の発見をニュースにするなど事業を行ってきたことは評価できる。

・感想：新たな化石発見、明世小学校との連携等博物館の未来が見えるように感じた。

・感想：鱗脚類化石発見のニュースはホットな話題だったと思う。

3. 協議事項

令和3年度事業計画について

●各委員からの主なご意見は以下の通り

○意見：来年度は徐々に元の体制に戻ることも視野にいれて計画を策定するべきである。同時に、様々な事業をオンライン化できるか検討してほしい。

◇回答：来年度の企画展等は新型コロナウイルスの収束を見越して企画しました。また、出前講座についてはオンラインで開催できるよう検討します。

○意見：出前授業等の件数増となるような宣伝の質と量を実施してほしい。

◇回答：校長会などで詳細な資料を配布し宣伝します。

○意見：来年度、明世小学校ではコミュニティスクールの準備委員会を立ち上げふるさと教育を推進する。ぜひ協力してほしい。

◇回答：地元の学校の連携を強化するうえでも協力を検討します。

○意見：化石マイスターなどで、マイスターに認定された小中高生が継続的に博物館と関われるようなシステム作りをしてほしい。

◇回答：マイスター認定者には収蔵庫や専門図書の閲覧ができるようにしています。今後は、マイスター認定者を対象とした講座を企画するなど検討していきます。

○意見：学術的な成果が行政的な評価に直結することに期待する。成果が市全体によく浸透するように努力してほしい。

◇回答：新聞等のメディアを活用した情報発信だけでなく、最新の成果を広報「みずなみ化石ナビ」に掲載するなど今後も積極的に成果の発信を行っていきます。